

宗像市市民参画等推進審議会議事録(要点筆記)

日 時	令和2年6月30日(火) 8:55～
場 所	メイトム宗像202会議室
委 員	■ 岡田智子 ■ 鎌田隆徳 ■ 大賀雄史 ■ 木村健次 ■ 佐藤靖成 ■ 種田明美 ■ 福岡佐知子 ■ 東博子 ■ 山田明 (五十音順、敬称略)
事務局	コミュニティ協働推進課政策係(花田課長、中脇係長、大久保、佐藤、成瀬) 商工観光課島づくり係(西畑)

1. 審査会(8:55～12:00、13:00～13:10)

審査会のスケジュール及び審査方法について事務局から配布資料に基づき説明。

各申請団体から申請内容に関する説明を実施後、審議会委員からの質疑に対し、各申請団体が応答。

①CLICK「学校や地域でのプログラミング学習の支援(3-1)」

市関連部署；子ども育成課、教育政策課

《質疑等》

(質疑) 昨年度は2日間実施した講座のうち、2日目は1日目と比較して参加者が半分に減少したとあるが、今年度も同様に講座を2日間実施するのか。

(団体から応答) 今年度は講座の日数を1日に減らし、講座の日数を減らした分はオンライン講座を開催していく。

(質疑) 申請額が当初の申請から減額となっているが、変更点はなにか。

(団体から応答) 当初の予定では、大人向けの講座も実施予定であったが、新型コロナウイルスの影響により講座を中止したため、その講座にかかる会場費を減額した。またオンライン講座への変更により不必要になった空調費も減額している。

(質疑) 団体に所属する情報教育支援士を4名にしたいと説明があったが、情報教育支援士は団体に何名在籍しているのか。

(団体から応答) 情報教育支援士は2名在籍している。

(質疑) 説明の中では、団体の希望として、将来、ペッパーくんを市に借上げてもらいたいとあったが、団体でペッパーくんを借上げないのか。

(団体から応答) 現在は、2年間無償でペッパーくんを貸出してもらっている。本来ならペッパーくんを借上げるには、一括で3年分のレンタル料金を支払わないといけない。本事業の活動が学校教育に利用できるのであれば市にペッパーくんを借上げてもらいたいと考えている。

(質疑) 宗像市の教育委員会に本事業の説明や協議はしたのか。また講座運営の中に高校の先生が含まれているが、高校の先生の役割はなにか。

(団体から応答) 宗像市の教育委員会に説明などは実施していないが、今後、実施したい。高校の先生には、講座全般のお手伝いをしていただく予定である。

②ココライイベント企画室「障害・高齢者ココカラはつらつ事業(3-1)」

市関連部署；福祉課、高齢者支援課

《質疑等》

(質疑) 新型コロナウイルスの影響により施設によっては、人の出入りを制限していると聞いている。申請内容に変更はあるのか。

(団体から応答) 新型コロナウイルスの影響により4月は活動ができなかったが、5月、6月は施設にニーズの聞き取りなどを行っている。申請内容の大きな変更はせずに活動していく予定である。

(質疑) 施設利用者が参加する活動はいつごろから開始できそうか。

(団体から応答) 新型コロナウイルス対策等を実施し、8月以降から実施する予定である。それまでは施設の職員への聞き取り等をしていく。

(質疑) イベント会場までの施設利用者の交通手段はなにか。

(団体から応答) 施設が所有している送迎車を利用する予定であり、イベント会場までの交通費用については、施設に負担していただく予定である。

(質疑) 引きこもりがちの方を外出させる手立てはなにか。

(団体から応答) 私たちは時間をかけてコミュニケーションをとり、信頼関係を築くことを心がけている。自宅に居る方についてもデイサービスなどを通じてコミュニケーションをとることを考えている。単発のイベントだけの関わりではなく、1年間かけてじっくり関わっていきたいと考えている。

(質疑) 今年度の活動施設はどこになるのか。

(団体から応答) 今年度の活動はゆり庵のみで実施する予定である。

(質疑) 今年度の計画では、フェスタの音楽演奏は2回実施することになっているが、新型コロナウイルスの影響で8月開催分のフェスタが実施できなくなれば、その費用は減額になるのか。また対象施設が1か所だけならチラシ・ポスターの作成費用は不要ではないか。

(団体から応答) 8月開催予定のフェスタは、日時と場所の変更を検討している。作業レクリエーションとして演奏者のチラシ・ポスターを施設利用者と一緒に作りあげ、作成したチラシ・ポスターを演奏会場などに掲載することで、演奏者と施設利用者が共に喜べるようにしたいと考えており、チラシ・ポスターは作成予定である。

③宗像フェス CSR 推進実行委員会「海の環境を守り笑顔をとどけよう！プロジェクト(3-1)」

市関連部署；環境課

《質疑等》

- (質疑) 昨年度まで本補助金に申請していた事業の対象は韓国であったが、今年度はスリランカが対象になっているのはなぜか。
- (団体から応答) 日韓の事業は自立し、サポート企業がついており、本事業とは別に実施する予定である。日韓交流分で回収したプラスチックも本事業のリサイクルに利用したいと考えている。
- 今年度、スリランカを本事業の対象とした理由は、スリランカの大使館と昨年度に繋がりができ、協議する中で本事業に協力していただけることとなったためである。
- (質疑) 海洋性プラスチックの問題は、マイクロプラスチックが海から消えないということが問題である。本事業では、回収したプラスチックから絵本を作成するとあるが、その絵本も最終的にマイクロプラスチックにならないのか。
- (団体から応答) 本事業で作成する絵本の素材は生分解性プラスチックである。そのため、マイクロプラスチックにならず、最終的に土になる。
- (質疑) 本日の説明では、当初の計画から本事業の参加人数を減少させ、当初の予定から参加人数が約半数となっているが、予算も減額になるのか。また新型コロナウイルスの影響もある中、イベントの実施が可能なのか。
- (団体から応答) 当初計画した人数を減らすのは、参加者のソーシャルディスタンスを保つためである。新型コロナウイルスの対策のために、会場までのバス移動は、2人掛けの座席を1人のみが使用し、またイベント施設はより広い施設に変更予定である。そのため参加人数が減少しても当初の予算から変更はない。またイベント時期を10月に変更するなど新型コロナウイルス対策も実施している。

④「子ども寺小屋カフェ」を運営する会「子ども寺小屋カフェ」等の事業(3-2)」

市関連部署；子ども育成課、コミュニティ協働推進課

《質疑等》

- (質疑) 昨年度から大幅に申請額が増加した理由は何か。
- (団体から応答) 今年度から毎月1回、家族ダイニングサンサンを開始することと、子ども食堂の開催が昨年度の月1回から月2回に回数が増加するため増額となる。
- (質疑) 子ども食堂に参加する子どもの人数はどれくらいか。
- (団体から応答) 子ども寺小屋カフェの定員を12～13名、家族ダイニングサンサンの定員を4～7月は定員を20名、それ以降は25名を予定している。
- (質疑) 子どもたちの参加費はいくらか。補助金がなくなった後の自立に向けた運営はどのようなのか。
- (団体から応答) 子どもは原則無料、大人からは食費代500円をいただいている。補助金が切れた後は、グリーンコープからの補助金など他の補助金等を活用していきたい。また自主財源を増やすために会員の増加を目指していきたいと考え

ている。

⑤二丁目小学校「二丁目小学校開校(3-2)」

市関連部署；子ども育成課、コミュニティ協働推進課

《質疑等》

(質疑) 申請額は少額であり、また活動内容が池野地区コミュニティ全体に対象を広げた活動である。池野地区コミュニティ運営協議会から資金を出してもらった方がいいのではないか。

(団体から応答) 本補助金を活用することで、市が認めた活動あると保護者が認識し、保護者が安心して子どもを参加させることができるのではと考えており、また団体の活動を行政職員や地域の方に周知することができるので申請している。

(意見) 子どもたちと給食を作るなど、活動内容は子どもの居場所づくりとして良い活動だと思う。できるならコミュニティの青少年部会と一緒に他のコミュニティに活動を紹介し、同様の活動が他のコミュニティにも広がればと思う。

⑥宗像ビブリオバトル倶楽部「ビブリオバトルを通じた読書活動推進事業(3-2)」

市関連部署；図書課

《質疑等》

(質疑) 団体の運営費を稼ぐために環境フェスタで古本の販売をする予定であるが、新型コロナウイルスにより環境フェスタが中止となった場合どうするのか。

(団体から応答) 環境フェスタが中止となった場合は、団体独自のイベントの中で寄贈していただいた本の販売を検討している。

⑦子ども支援ネットワーク With Wind「子どもの居場所ネットワーク事業(3-2)」

市関連部署；子ども育成課

《質疑等》

(質疑) 計画では、視察研修を9月に実施予定だが、実施が可能なのか。

(団体から応答) 相手先の都合により日程変更の可能性はあるが、実施を予定している。

(質疑) 資料として提出している子どもの居場所情報 MAP 等はどこにいけば手に入るのか。

(団体から応答) 子どもの居場所情報 MAP は市内の小中学校の全生徒に配布している。また子どもの居場所関連の団体にも配布し、今後コミュニティ・センターにも配布したいと考えている。問い合わせいただければ個別でも対応している。

⑧特定非営利活動法人メイクハッピー&ピース「ピースプロジェクト(3-3)」

市関連部署；福祉課、子ども支援課

《質疑等》

(質疑) 4年目以降の活動の運営はどうしていくのか。

(団体から応答) 教育や福祉の分野では、財源を生み出すのは難しいと認識しており、自己資金だけでなく、他の補助金、助成金やクラウドファンディングなどを活用していきたい。また学習サポートなどの他の事業の余剰金も活用したい。

⑨宗像地区成年後見研究会「成年後見制度の啓発・普及と人材の育成(3-3)」

市関連部署；福祉課、高齢者支援課

《質疑等》

(質疑) 昨年度から申請額が大幅に増加した理由はなにか。報償費と旅費が申請額の79%を占めているがなぜか。

(団体から応答) 今年度から市民後見人を育成する研修を行う予定である。市民後見人を育成するには、50時間の研修を実施しなければならないと規定があるため、今年度から講座の回数が大幅に増加している。それに伴い、講師等にかかる費用の報酬費や旅費も増額しており、申請額に占める割合も高くなっている。

(質疑) この研修はしなければならないのか。4年目以降の活動を自己資金で継続して活動できるのか。

(団体から応答) 今年度は昨年度まで実施してきた活動に加えて市民後見人を育成する研修も追加して実施し、宗像市に市民後見人が育成できれば、自ずとこの事業が継続していくと考えている。また今年度はNP0法人格の取得を目指しており、4年目以降の活動計画は、NP0法人として活動し、他の補助金等を活用することを考えている。

(質疑) 以前は成年後見に関する相談窓口が市内に整備されていなかったため、団体に相談する人もいたが、現在は社協に窓口があり、また市の相談窓口先となる地域包括支援センターを市が整備している。貴団体への昨年度の相談件数は10件ほどしかないが、今年度の相談事業についても実施するのか。

(団体から応答) 昨年度はPR不足で相談件数が少なかったが、関係団体に事業内容を紹介したり、施設等にチラシを掲示したりして、PRを図っていく。成年後見の相談事業については相談者が集まりにくいと、継続したいと考えている。

○元気な島づくり事業補助

事務局から申請の取下げが2件あったことを報告。

い 特定非営利活動法人JAPANビーチサッカーネットワーク「大島 ビーチイベント(5-1)」

市関連部署；商工観光課元気な島づくり係、文化スポーツ課

《質疑等》

(質疑) スタッフはどのような人が参加するのか。多くの人が島外から来るが、大島地区コミュニティ運営協議会の理解を得られているのか。

(団体から応答) スタッフの実態としては、理事長の伊藤とボランティアスタッフが1

0名である。大島地区コミュニティ運営協議会の会長や事務局長と協議が必要であると感じているが、まだ協議はできていない。

(質疑) 申請書の中に地元の方と協力体制をつくと記載しているが、協力体制をつくられているか。

(団体から応答) 一部の島民の方に活動内容の説明を行っているのみである。

(質疑) 予算書に記載している委託先が申請団体になっているが、これはどういうことか。

(団体から応答) 機材の積み下ろしなどの人件費であり、団体に委託料が入るわけではない。

(質疑) 大島に宿泊する20名はどのような人か。

(団体から応答) スタッフ10名、ゴスペルグループ5名、サッカーの講師5名である。

(質疑) 本事業のイベント参加者は大島に宿泊するのか。

(団体から応答) 参加者全員が大島に宿泊するわけではなく、日帰りの参加者もいると想定している。

え 地島小学校PTA「いきいき地島っ子 活動支援」(5-5)」

市関連部署；商工観光課元気な島づくり係

《質疑等》

(質疑) 今年度が本補助金に申請して5年目となるが、来年度以降の活動はどうしていくのか。

(団体から応答) 他の補助金などを視野に入れて、来年度も実施していきたい。

お おおしまお助け隊「島内環境保全と維持・管理(5-3)」

市関連部署；商工観光課元気な島づくり係、環境課

《質疑等》

(質疑) 予算書に記載している自己資金は確保できるのか。

(団体から応答) 草刈を依頼するときは、1時間あたり900円を作業者に支払うことになっており、支払金額の10%を団体の自己資金へ充てるので確保の見込みは立っている。

か 九州共立大学スポーツ学部「九州共立大学(大島プロジェクト)～筑前大島におけるスポーツを通した健康づくり及びコミュニティづくり～(5-3)」

市関連部署；商工観光課元気な島づくり係、文化スポーツ課、健康課、コミュニティ協働推進課

《質疑等》

(質疑) 需用費の内訳はどのようなになっているのか。またDVDは何枚製作する予定か。

(団体から応答) 需用費の内訳は、健康スポーツに使用する用具代、運動能力測定調査のプリント代、スポーツ科学のプログラミングの参考資料や報告書作成費用で

ある。DVD は 20 枚ほど製作し、お世話になった団体や大学の関係者に配布を予定している。

(質疑) 高齢者に対する取組はどういったことをおこなうのか。

(団体から応答) 今年度は、体力測定の結果をフィードバックすることを検討している。今回測定した体力測定の結果と 2 年前に測定した体力測定の結果を比較し、その比較結果を基に参加者にアドバイスをしていく。また日頃の生活でできる体操の紹介や幼児と高齢者がふれあえるレクリエーションにも取組む予定である。

＝散会＝